

私の想い

【安全保障関連法に思うこと】



野方保育園
理事長
吉岡 順一

(将来軍事用に転換されるかも)。北朝鮮による弾道ミサイルの試射や核兵器の開発など等。

日本を取り巻く危険は多くあるように思います。専守防衛ではやられてから反撃するということになっていきますので、事によっては相手の一撃で壊滅的な打撃を受け、反撃できない事態も起こりうることも考えられます。

特別委員会では、さまざまな想定を考えた議論がなされ、参考人も反対派、賛成派それぞれ意見が出されました。

安全保障関連法は、衆議院の特別委員会で強行採決され本会議でも可決したことは国民全員関心の深いことだと思えます。一部で「戦争法案」とか「軍国主義の復活」とか言われてもいますが、皆さんはどう感じていますか。

私は、島根県の竹島を韓国が実効支配している事や中国の尖閣諸島問題に加えて東シナ海における一方的なガス田開発(現在八か所確認されています。)航空機や艦船による領空領海侵犯。南沙諸島の埋め立てによる滑走路の建設

いったのですが、今の日本はどうでしょうか？自衛隊が主導権をもち戦争を起こすのでしょうか？

私はそうは思いません。旧日本軍と自衛隊の違いはシビリアンコントロールされているかどうかという事です。民主主義国では考えにくい事です。

アメリカとの安保条約もありますがはたしてアメリカが本当に日本のために戦ってくれるのでしょうか？いざとなった時「自分のことは自分でやれ」と言いだすのではないのでしょうか。

自衛隊員は危険が増すかもしれませんが。しかし、選択して選んだ職業ですのでそれなりの覚悟と国民の期待にこたえなければならぬと思います。

全ての国民の自由と平和を守るために、そしてなにより将来を担う子どもたちのためにこれを続けていく必要があると思います。自国は自分たちで守るのは当然のことだと思えます。

編集後記

暑さ寒さも彼岸まで、昔のことわざがあります様に、しのぎやすい時候となりました。

本年度は、例年にならない天候不順のため、早期水稲をはじめ農作物の減収、またゲリラ豪雨の爪痕がいまだに残っている状況でありますので、皆様には大変ご苦労なされ精神的かつ経済的にも打撃を被っておられることと思えます。私どもとしましても一日でも早く回復されるよう取り組んでまいります。

さて、9月21日は敬老の日でしたが、本町も超高齢化社会になり、百歳以上の方が11名いらっしゃいます。議会においても高齢者福祉の充実を図り、町民の方にとっても住みよい楽しいまちづくりに努力してまいります。健康で長寿をお祈りいたします。

(諸木悦朗)

議会広報広聴常任委員会

- 委員長 稲留光晴 副委員長 諸木悦朗
- 委員 中倉 毅 委員 中倉広文
- 委員 神崎文男 委員 児玉孝徳

発行責任者 大崎町議会議長 小野光夫